猫侍

本格時代劇アドベンチャー

PlayStation

Neko-Zamurai

©HUMAN 1999.

HUMAN ENTERTAINMENT
HUMAN



C O N T E N T S

コントローラの基本操作 ……2
メニュー画面 ……3
ふろく画面 ……4
本編の遊び方 ……5

For Japan Only

プレイヤー 1人

メモリーカード 1ブロック

SLPS 01543~5

猫侍



REKOZAMURAI

コントローラの基本操作



その他・特殊機能

L/Rボタン…回想画面、ミニゲーム選択画面において高速スクロール

※このゲームはアナログモードには対応していません。アナログコントローラを使用する際は、アナログモードスイッチをOFFにして、LED表示が点灯していないことを確認した上でご使用ください。

メニュー画面



タイトル画面でスタートボタンを押すと、メニュー画面になります。この時、以下の項目を選択する事ができます。

最初から始める

ゲームを最初から遊ぶことができます。

途中から始める

猫侍のセーブデータがあるメモリーカードがメモリーカード差込口１にささっている場合のみ、選択できます。

ふろく

おまけ機能を使用します。◎ボタンで決定するとふろく画面に移行します。

ふろく画面



音響状態

サウンドの出力設定を、ステレオかモノラルに設定できます。

過去の記録

イベントシナリオのリストを見る事ができます。すでに終了したシナリオは白く表示されます。方向キーでスクロール、✕ボタンでふろく画面に戻る事ができます。
注意:エンディングを迎える前に途中終了してしまったイベントシナリオは、終了したとはみなされません。

ミニゲーム

一度発生したミニゲームを遊ぶ事ができます。すでに発生したミニゲームは白く表示されているので、その中から遊びたいミニゲームを方向キーで選択、◎ボタン決定してください。✕ボタンでふろく画面に戻る事ができます。

戻る

メニュー画面に戻ります。

本編の遊び方 1

本編の遊び方

ゲーム中はリアルタイムで時間が経過していきます。４月からゲームはスタートし、９月末日でエンディングを迎える事となります。その間、十兵衛の分身たる貴方は、ゲームの舞台となる江戸深川の町で、自由に暮らしていく事となります。





疲労度を示すゲージ

疲労度

十兵衛は町を歩き回ったり、会話等をする度に疲労度が増加していきます。疲労度が最大になると十兵衛は倒れてしまい、丸一日、自宅で強制的に睡眠を取らされてしまいます。疲労度を回復する為には、自宅で「寝る」コマンドを選択する事によって回復できます。「寝る」コマンドによる体力の回復は、最大八時間程度ですので、倒れる前に「寝る」コマンドを使用するようにしましょう。

地図画面

物語の舞台となる江戸深川の町です。方向キーで自由に町の中を歩きまわる事ができます。道を歩いている最中に建物アイコンが表示されたら、その建物に入る事ができる(◎ボタンで決定)という意味ですので、色々な場所に入ってみましょう。入る事のできる場所は、イベントシナリオの結果等により変化する場合があります。



本編の遊び方 2

建物画面

特定の建物に入ると、いくつかのコマンドを選択する事ができます。この時は選択したいコマンドを方向キーで選択、◎ボタンで決定してください。



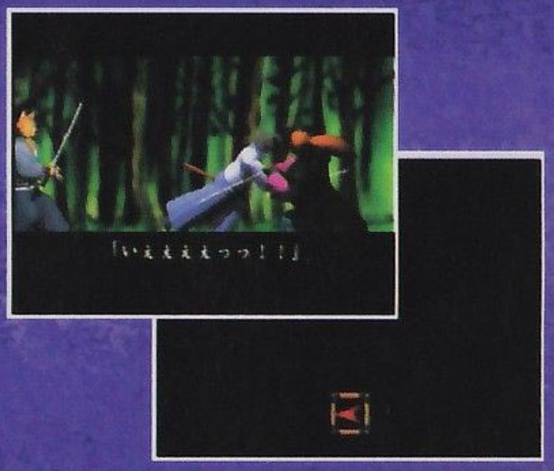


会話画面

誰かと会話を行っている最中に、時折「選択肢」が現われる場合があります。この時は、選択したい行動を方向キーで選択、◎ボタンで決定してください。どのような選択をしても自由ですが、あまり無茶な選択をしているとゲームオーバーになる場合もあります。

ムービー画面

決闘シーン等のムービーでは、時折画面下に矢印が表示される場合があります。この時は、素早くその矢印の方向に方向キーを入力してください。入力が遅かったり、間違えて入力してしまった場合、ゲームオーバーになってしまいます。



本編の遊び方 3

セーブ・ロード

セーブ・ロードは「自宅」で行う事ができます。また、特定の条件を満たすと「法禅寺」でも行う事ができます。メモリーカードはメモリーカード差込口１のみ対応で、１ブロック使用します。





ミニゲームの操作方法

プレイ中、ミニゲームが発生する場合があります。セレクトボタンを押すと、各ミニゲームの操作方法を見る事ができます。







猫又の世界

猫又（ねこまた）

主人公十兵衛をはじめとする、人語を解し、自らも話す事の出来る猫達の総称。人間達の俗説にある妖怪の「猫又」とは異なり、ほとんどの猫は三年ほどで人語を解し猫又となる。

御神楽府（みかぐらふ）

御神楽岳山麓にある猫又達の首都。多くの猫又達が人間に知られる事なく暮らしている。十兵衛はこの地の出身。

天彦（あめひこ）

御神楽府にいる猫又達の帝。猫又達の象徴的な存在であり、その地位につく者は代々「天彦」の名を受け継ぐ事になる。「君臨すれども統治せず」が基本的な姿勢で、よほどの事が無いかぎりその姿を現す事はない。

御神楽党（みかぐらとう）

次第に治安の悪化しつつあった御神楽府の警護の為に設立された剣客達による集団。
「天彦」の勅許により、御神楽府公認の組織となった。しかし現在では党首斬馬弥四郎の方針により、とてつもない権力を持つ独裁組織になりつつある。

転化（てんげ）

猫又達の使用する幻術。この術を使用する事により猫又は人間達の目には四つ足で歩く普通の猫にしか見えなくなる。これが使えるようになって初めて猫又として一人前。

通り名（とおりな）

猫又達は基本的に名字を持っていない。しかし、世に認められた猫又は周囲によって通り名をつけられる場合がある。弟斬十兵衛の『弟斬』、斬馬弥四郎の『斬馬』等がこれにあたる。ちなみにそれぞれの道において第一人者として公式に認められたごく少数の猫又に限っては、御神楽府より特別に名字を名乗る事を許される場合がある。十兵衛の師、三代目支倉勘之介等はその一例である。

つる板（つるいた）

人間等に悟られないように猫又達が使用する標識。猫又の店がある場合等、目立たない場所にこれを吊るしておく事によって看板の代わりとする。そこに書かれているのは猫又用の記号である。

内猫・外猫（うちねこ・そとねこ）

人間達の多く住む街では猫又も、普通の飼い猫のふりをして生きている場合がある。
これらの人間と共に暮らす猫又を内猫、それ以外の猫又を外猫と言う。

御神楽陰流（みかぐらかげりゅう）

御神楽府で最も隆盛の剣の流派。陰流の創始者、愛洲移香斎と共に暮らした神猿が、御神楽府に立ち寄った際に猫又達に伝授したとされている。時代が下るにつれて洗練されていった人間達の陰流と異なり、始祖の時代から変わらぬ野生的な太刀筋が特徴。主人公十兵衛の宿敵、斬馬弥四郎の流派もこれである。

無竟流（むけいりゅう）

伝説の剣客、初代支倉勘之介が創始した猫又達特有の剣の流派。猫又特有の跳躍力や敏捷性を活かした変幻自在の剣。ちなみにその名の由来は「（いかにその剣が上達しようとも）剣の深奥竟る（こと）無し。」という初代支倉勘之介の言葉による。主人公、十兵衛の流派。

スタッフ

企画・総指揮：河野 一二三

脚本：原田 嘉一　露崎 尊幸　大石 大志

制作助手：戸澤 敏和

人物設定：石川 哲也

制作管理：松本 龍

制作進行：尾形 憲章

メインプログラム：益子 健一

プログラム：川端 恭広　広瀬 俊一

チーフデザイン：鈴木 孝幸　小野 義則

デザイン：若林 秀幸　滝沢 聡一郎　清野 シルビオ 悟
磯部 真生　氏家 大悟朗　大越 敏弘
遠山 隆士　平野 寛

背景原画：管 誠司　原 芳人

美術：岡田 和夫　柴田 雅人

音楽：高田 雅史

音響効果：高添 香織　あつ野 一郎

ギター（エンディング）：保本 真吾

声の出演：弟斬十兵衛／岸野 幸正
きさ／半場 友恵
佳代／川村 万梨阿
真砂／田辺 静恵
阿蘭陀仁右衛門／富田 浩徳
太一／上田 祐司
天真／石田 彰
壱之新／千葉 一伸
僻腕のハガネ／星野 充昭
墨壷／塚田 正昭
ほとりの吉松／納谷 六朗
斬馬弥四郎／沢木 郁也

OP・ED動画：武市 州生　高橋 弘樹　渋谷 憲吾　林 友恵
中村 美乃　川口 美佳　藤原 由紀子　鳥井 千羽

MCスタッフ：小野 信良　棟方 さくら　佐野 洋子　松崎 由季子

表情演技：高橋 靖典　小松 由佳

デバッグ：杉浦 賢治　本城 信樹　久下 直人　鳴沢 賢一　佐々木 祐司
大坪 博文　高澤 一広　小田 信爾　浅井 定史　大西 健二郎
望月 宗　伊藤 智史　田中 功一　斎藤 健　見城 啓四郎
松山 雄介　高橋 邦生　吉澤 徹

協力：RAINBOW JAPAN　日本アニメーション　SIDO LIMITED
DYNAMO　アーツビジョン　青二プロダクション　江崎プロダクション
テアトル・エコー　タバック

アドバイス

1.各キャラクターは十兵衛に対して好感度を持っており、会いに行く度に少しずつ上昇していきます。好感度が高いキャラクターが多ければ多い程、イベントシナリオが発生しやすくなるので、色々なキャラクターと会ってみましょう。

2.イベントシナリオが発生している時は、様々な選択肢や特殊イベントが発生します。この時、どのような行動を取るかは、完全に自由ですが、その行動の結果によっては、他のキャラクターの死亡や、入る事のできる場所の消失等、大変な結末が待っている場合もあります。

3.基本的に、このゲームは猫又として江戸の生活を楽しんでいただく事が目的の作品です。あまり攻略等にこだわらず、自由に生きてみてください。

















使用上のご注意

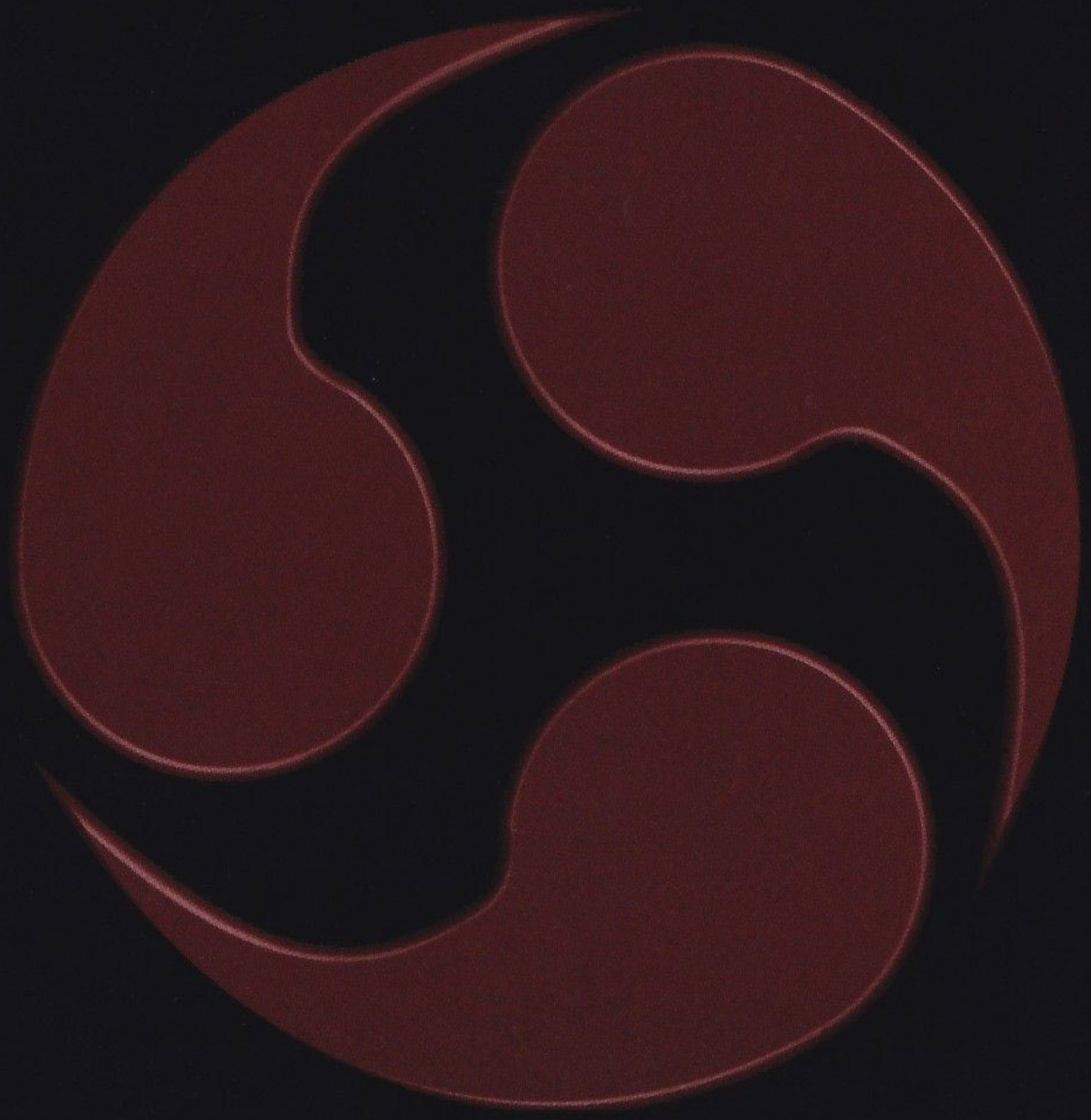
●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ“PlayStation”専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC | J マークあるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の“PlayStation”にのみ対応しています。海外仕様の“PlayStation”では使用できません。●「解説書」および“PlayStation”本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを“PlayStation”本体にセットする場合は、必ずレーベル面（タイトル等が印刷されている面）を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後“PlayStation”本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。またシール等を貼付したり、鉛筆、ペン等で文字や絵を書かないでください。●ディスクが汚れた時はメガネふきのような柔らかい布で、内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取ってください。その時、レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対に使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房機器の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●“PlayStation”本体をスクリーン投影方式のテレビ（プロジェクション・テレビ）には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。



SLPS 01543~5

© HUMAN 1999.
"PlayStation" and "PlayStation" are registered trademarks of Sony Computer Entertainment Inc.
WARNING: All rights reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.